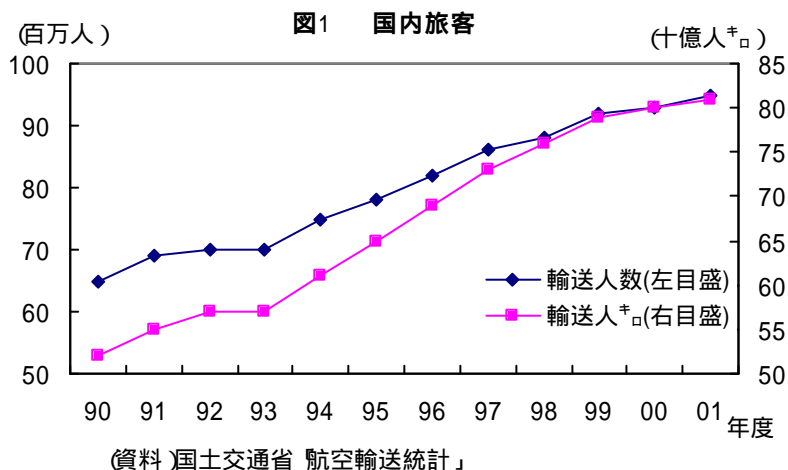


航空輸送需要の動向について

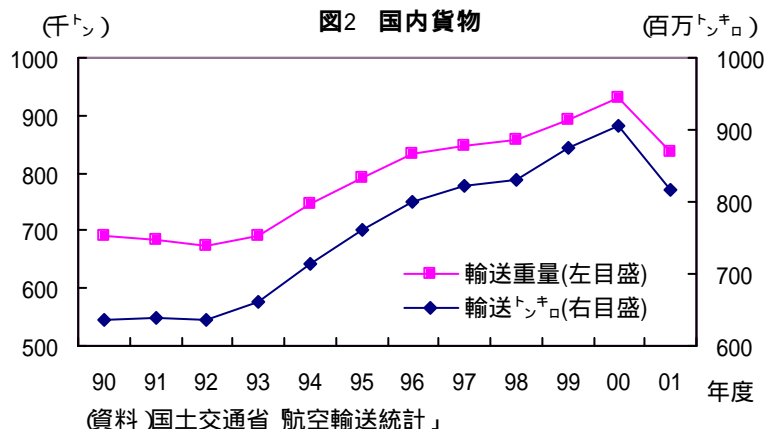
我が国の航空輸送需要は、旅客・貨物、国内・国際とも過去ほぼ比較的順調な拡大を遂げてきた。今後も時間短縮ニーズ、高速輸送ニーズなどを背景に拡大が見込まれるが、更なる景気の落込みや戦争・テロといった下振れリスクには注意を要する。

1. 需要実績

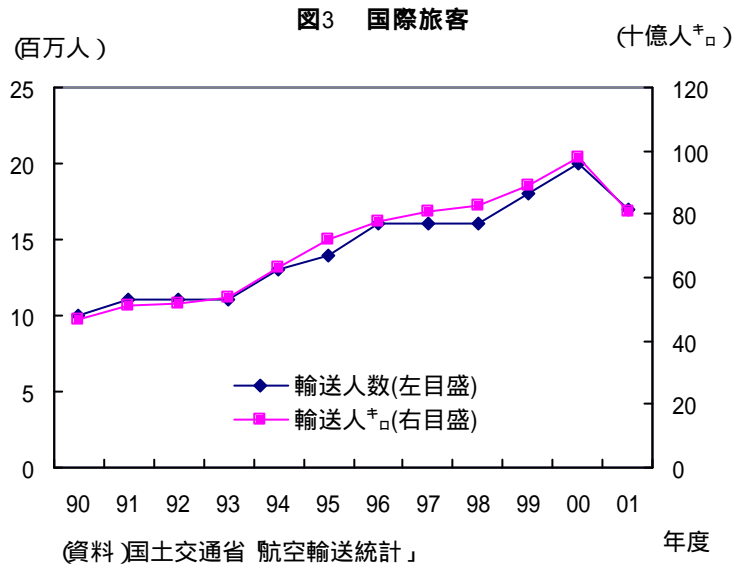
国土交通省の「航空輸送統計」によれば01年度の国内旅客については、昨年9月の米国同時テロ事件直後は大幅に減少するなど、その影響が現れたが、航空各社の需要喚起策などもあり、旅客数9,458万人、人^キベース8,145,896万人^キ、対前年度比ではそれぞれ+1.8%、+2.2%の増加となった。90年度以降の過去12年間についても、ほぼ一貫して増加し続けている。(図1)



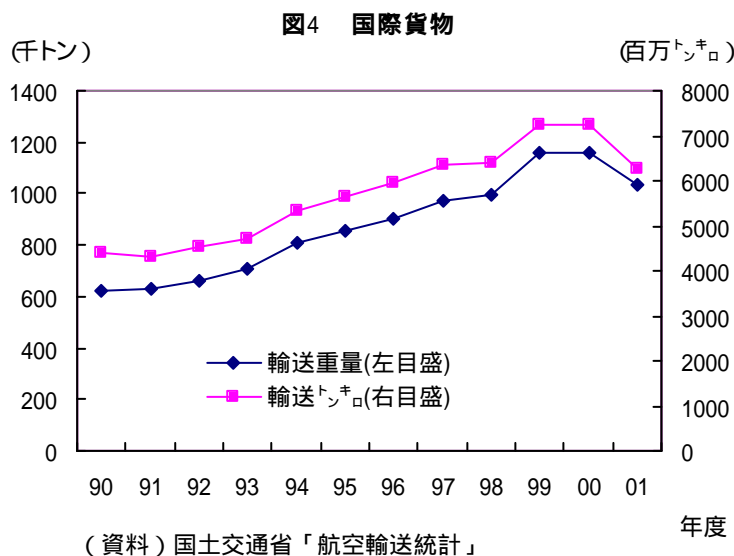
次に国内貨物は00年度までは順調な伸びを示していたが、01年度は貨物重量836,076トン、トン^キベース81,730万トン^キ、対前年度比では10.1%、9.8%となっており、景気低迷等を背景に大きく低下している。(図2)



国際旅客は、年度当初より観光需要が前年並みで推移、ビジネス需要は景気後退による翳りが見えつつあったが、米国同時テロ事件以降はビジネス・観光需要とも大幅に落ち込み、旅客数 1,690 万人、人^キベース 8,086,435 万人^キ、対前年度比 13.5%、17.4%と大幅な落ち込みとなった。但し、90～00 年度の 11 年間では、ほぼ一貫して増加し続けており、昨年度の大幅な落ち込みは米国同時テロによる影響が大きいものと見られる。(図 3)



国際貨物は貨物重量 1,032,865 トン、トンキベース 627,592 万トンキで、対前年度比では 11.0%、13.2%と大幅な落ち込みを示している。99 年度までは増加基調を続けていたが、00 年度横這い、01 年度減少となっており、米国同時テロ以前より IT 不況等により低迷、01 年度は更にテロによる影響が加わったものと見られる。(図 4)



2. 今後の需要見通し

本年5月に国土交通省の交通政策審議会・空港整備部会で公表された需要予測によれば、

国内旅客：00年度より07年度まで年率+2.2%、以後12年度まで年率+3.4%

国内貨物：00年度より07年度まで年率+2.2%、以後12年度まで年率+2.6%

国際旅客：00年度より07年度まで年率+3.6%、以後12年度まで年率+5.1%

国際貨物：00年度より07年度まで年率+4.0%、以後12年度まで年率+4.5%

といずれも順調な増加を予測している。

注：上記需要予測の前提として、人口については00～07年の年当り平均伸び率0.1%、同07～12年0.1%、12～17年0.3%、経済成長率については01年度1.0%、02年度0.0%、03年度0.6%、04・05年度1.5%、06年度1.6%、07～10年度1.9%、11～15年度1.5%、16～20年度1.3%などとしている。

上記の予測値を過去の実績と比較すると、94～01の過去7年間について、国内旅客は74,547千人→94,579千人、年率+約3.4%、国内貨物は746千ト→836千ト、年率+約1.7%、国際旅客は12,688千人→16,905千人、年率+約4.2%、国際貨物は809千ト→1,033千ト、年率+約3.8%の伸びとなっており、さほど大きな違和感は感じられない。(表1)

表1 需要予測値・実績

単位：%	需要予測値		実績
	00～07年度	08～12年度	94～01年度
国内旅客	+2.2	+3.4	+3.4
国内貨物	+2.2	+2.6	+1.7
国際旅客	+3.6	+5.1	+4.2
国際貨物	+4.0	+4.5	+3.8

しかしながら、今年度に入ってから、国際貨物が前年同月を大きく上回って推移し堅調、国内旅客も8月に漸く前年同月並となり、5～6月にかけてはワールドカップサッカーのため国内旅行が差し控えられたという特殊要因があったとすれば、まずまず回復しつつあるとも言えるが、国内貨物・国際旅客については、前年同月を大きく下回って推移しており、上記の需要予測は、国際貨物を除きやや楽観的とも思われる。(表2)

表2 旅客・貨物前年同月比推移

	国内旅客輸送人数 (単位:千人、%)		国内貨物重量 (単位:トン、%)		国際旅客輸送人員 (単位:千人、%)		国際貨物重量 (単位:トン、%)	
	02年実績	前年同月比	02年実績	前年同月比	02年実績	前年同月比	02年実績	前年同月比
4月	7,058	97.1	67,829	92.1	1,376	93.1	94,528	111.9
5月	7,754	96.8	65,017	95.2	1,430	95.5	96,487	121.8
6月	7,285	95.4	63,692	92.8	1,434	89.7	103,845	121.2
7月	8,164	98.0	72,672	91.6	1,589	93.4	101,366	123.2
8月	9,436	100.4	69,018	91.4	1,706	93.1	97,683	122.8

(資料)国土交通省「航空輸送統計速報」

従来、我が国の航空需要は、旅客分野については余暇の増大や時間短縮ニーズ、あるいは規制緩和を受けた運賃弾力化による航空会社の需要喚起策、貨物分野についてはIT化による高速輸送ニーズ等を背景に、他の輸送分野が低迷を余儀なくされる中で、比較的順調に拡大してきたが、国内貨物・国際旅客の動向に見られる様に、景気低迷が深刻化する中で、ついに低迷し始めたとも考えられ、上記の需要予測が下振れする可能性もあり得るものと思われる。

また、米国によるイラク進攻などの戦争やテロ事件といった不測の事態が起こった場合には、更に大きく低迷するリスクがある点、注意が必要である。

以上

(岡村：okahurah@sumitomotrust.co.jp)